

# 事業のタネシート

活動地域・団体名：沖縄県島尻郡座間味村（阿嘉島）・阿嘉区

事業名称 1：阿嘉島製塩事業		
		あらすじ
阿嘉島にある海水淡水化施設から出る濃縮海水を活用した製塩事業。様々な製塩の方法があるので阿嘉に合った製塩方法を模索中		
		ストーリー
海水淡水化施設から出る濃縮海水は、地域の皆さんが水道水を利用する過程で生まれる副産物であり、誰のものとも明確に決められないこともあり、この事業は阿嘉区が主となり行うことで雇用を創出し、出た利益は阿嘉区の財政収入とする。座間味村のお金に依存することなく、しっかりと阿嘉区を運営するためにも必要な事業となる。また、国立公園でもある慶良間諸島に位置していることを強みに慶良間ブランドを創り上げていく。		
事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	山の手入れにもなるので間伐材を薪として製塩づくりを行い、海・山・人が織りなす優しい暮らしを実現したい	製塩工場建設の資金
②課題	製塩事業計画書の作成・資金調達・製塩場所の確保など	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	活用されていない資源を活用し、稼ぐ力をつけることで少子高齢化、過疎化が進む日本において生き残りをかけた戦いに勝つため	
④地域資源	濃縮海水 基本計画したいではあるが間伐材 天日	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	塩・にがり・その他関連商品 名称（仮）阿嘉島の塩 慶良間の塩 など	
⑥担い手（Who）	現在この事業にかかわっている4名の島民を中心に今後検討	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	これまで海に放出していた濃縮海水を塩に変え、慶良間、阿嘉島ブランドでお金に変える。雇用創出による働く場所づくりから定住促進に繋げる。間伐材活用ができれば連携事業として林業が可能になりさらに木工細工などの新たな可能性も生まれる。	沖縄県一括交付金の活用
⑧事業で生じる成果	生きがい・やりがいの創出、自立した地域経済の創出、連携事業の創出	

事業名称 2 : 空き家の活用		
あらすじ		
島内にある空き家（仏壇あり、家主が年に1~2回来る）が30軒あり、これらを賃貸活用することで住むとこ問題の解決に繋げる。		
ストーリー		
阿嘉島に住みたくても住む家がないと島を離れていった人達がこれまでたくさんいた。少子高齢化過疎化に伴い、人口減少を辿っている座間味村においても、彼らが島に住んでもらうことで少子高齢化の歯止めに繋がる。この事業は空き家の家主にヒアリング調査をし、島が抱える人口問題をも含め、共に協議していきたい。その中から一軒でも賃貸契約ができるよう務める。		
事業の骨子		現時点で想定される 課題・ボトルネック
①ありたい未来	島に空き家が無く、子育て世代で溢れる阿嘉島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仏壇については家族、親戚、広くにわたって関連があるため、家主ひとりでの判断が難しい</li> <li>・家の修繕が必要な場合の資金調達</li> </ul>
②課題	人口減少、過疎化、人材不足	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	人口減少、過疎化、人材不足を解決するため	
④地域資源	空き家	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリングを行い、家主に今後の空き家の活用について伺う</li> <li>・家賃収入のメリットを周知し、お互いにwin-winな関係を構築する</li> </ul>	
⑥担い手（Who）	空き家の家主世代を知る島民と若者ニーズを知る島民	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	空き家が無くなる = 生産人口の増 = 自然増の可能性に繋げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先に取り組んでいる市町村</li> <li>・国、県の補助金</li> </ul>
⑧事業で生じる成果	人口増	

事業名称 3 : 遊休農地の解消島らっきよの生産		
あらすじ		
島内にある遊休農地を活用して島らっきよの生産を行う		
ストーリー		
観光業が主な産業である阿嘉島において、農作物における特産が乏しい。せっかく島に来るお客さんに提供できる特産づくりのため遊休農地を活用し、島らっきよの生産、加工、販売を行う。6次産業化の仕組みを作ることで遊休農地の解消に繋げ作付面積を増やしていきたい。また、買取制度を作り換金作物として生産者を増やしたい。		
事業の骨子		現時点で想定される 課題・ボトルネック
①ありたい未来	島に手入れされた畑が広がり、6次産業化の強化	地主探し、一筆が小さい、整地作業費
②課題	人材不足、地主探し、畑の整地費用	
③なぜこの事業をやるのか (Why)	観光業×6次産業化で稼ぐ力をつける	
④地域資源	遊休農地	
⑤商品・サービスの具体的な内容 (What)	島らっきよの漬け物、その他関連商品	
⑥担い手 (Who)	現在この事業にかかわっている4名の島民を中心に今後検討	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業家
⑦事業で生じる循環	遊休農地の解消、作物の生産、加工による雇用の創出、販売による利益、特産品づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座間味村農業委員会</li> <li>・沖縄県農業振興公社</li> <li>・国、県、補助金</li> </ul>
⑧事業で生じる成果	地域の付加価値の向上	